

2024年9月1日

学会会員外（一般）の皆様へご案内 2024年度（第11回）農業労災シンポジウムの開催について

日本農業労災学会

平素より本学会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り、第11回農業労災シンポジウムを開催することになりました。今回のシンポジウムは、対面とオンラインの併用によるハイブリッド開催を予定しています。

本シンポジウムは、農作業事故防止に関心を持っておられる学会会員以外の一般の方にも有料（2,500円）にて対面でもオンラインでもご参加いただけるようにしております。このシンポジウムに興味のある方は、下記に示す要領でお申し込みください。

記

I 第11回農業労災シンポジウムの概要

1. 開催日時：2024年10月25日（金）13:00～17:15
2. 会場：ハイブリッド開催
東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学世田谷キャンパス
農大アカデミアセンターB1 横井講堂 +Zoomによるオンライン
3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会 3研究部会
(労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会)
4. 後援団体：JA全国組織、JA単協等
5. シンポジウムの統一テーマ『農作業事故防止技術・方策の社会実装へのチャレンジ』
6. シンポジウムの開催趣旨

農作業事故防止に関わる現在の政策の体系、農作業事故防止技術の開發現状とその具体的な社会実装の現状を知るとともに、そうした政策や技術を現場の農家に普及して事故ゼロを目指す活動を実践している関係者の取り組みを紹介する。また、そうした事故ゼロを目指す活動の更なる効果的な展開方向について、意見交換を行う。

7. プログラム

- 13:00～13:10 開会挨拶
- 13:15～14:15 基調講演（2名）
- 14:25～15:45 講演（4名）
- 15:55～16:25 コメント（4名）
- 16:25～17:15 総合討議

※詳細は下記の開催要領をご参照ください。

II 大会への参加申し込み及び参加費の支払い方法

1. 参加申込期限と申込方法

シンポジウムに参加希望の方は、次の Google フォームより、9月30日（月）までにお申し込みください。参加登録後は、申込時に入力したメールアドレスに連絡させていただきます。

<https://forms.gle/2j5dEvdz5TpXzHPC7>

2. 参加費（2,500円）は、10月15日（火）までに学会の下記口座までお振込みください。

- 銀行名：ゆうちょ銀行 ●支店名：019（ゼロイチキュウ）
- 預金種目：当座 ●口座番号：0360213
- 口座名義人：日本農業労災学会（ニホンノウギョウロウサイガツカイ）

3. 開催までのプロセス

参加登録が完了し、参加費の送金が確認された参加登録者には、10月15日（火）以降に、メールにて Zoom 接続のための URL や報告要旨のダウンロード方法等についてご案内をいたします。

III. 学会事務局、問合せ先

本シンポジウムについての問合せは、学会事務局までお願いいたします。

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 KS ビル 4F 株式会社農林水産広報センター内

TEL 03-6380-8955 / FAX 03-3239-7344 / E-mail rosai@norinsuisan.co.jp

ホームページ：<http://jfapr.jp/>

※本学会に入会を希望される方は、本学会のホームページにアクセスいただき、入会申込書にご記載の上で本学会事務局宛に FAX 等でお送りください。

以 上

日本農業労災学会第11回シンポジウム開催要領

テーマ

農作業事故防止技術・方策の社会実装へのチャレンジ

シンポジウム趣旨

農作業事故防止に関わる現在の政策の体系、農作業事故防止技術の開発現状とその具体的な社会実装の現状を知るとともに、そうした政策や技術を現場の農家に普及して事故ゼロを目指す活動を実践している関係者の取り組みを紹介する。また、そうした事故ゼロを目指す活動の更なる効果的な展開方向について、意見交換を行う。

挨拶 13:00～13:10

学会長、東京農業大学長

基調講演1 13:15～13:45 (30分)

農作業安全対策の推進について

土佐 竜一（農林水産省 農産局技術普及課生産資材対策室長）

*農水省による事故ゼロを目指す政策の体系的な整備状況とその効果、さらには今後の農作業安全対策の今後の展開方向について紹介してもらう。

基調講演2 13:45～14:15 (30分)

農研機構における事故ゼロに向けた農作業安全システムの技術開発と社会実装の取組

富田 宗樹（農業・食品産業技術総合研究機構 農業機械研究部門
システム安全工学研究領域長）

*VR を活用した農作業安全啓発システム、トラクタ安全フレーム開発、トラクタの危険挙動の検知システム、遠隔監視ロボット開発、農作業用アシストスーツなどの開発現状と社会実装の取り組みを紹介してもらう。

休憩 14:15～14:25

講演1 14:25～14:45 (20分)

農作業事故と労働安全衛生対策－新しい動き－

氣多 正（一般社団法人日本農業機械化協会技術顧問）

講演2 14:45～15:05 (20分)

事故事例・事故防止 14のキーワード

齊藤 総幸（一般社団法人 全国農業改良普及支援協会 普及参事兼情報部長）

講演3 15:05～15:25（20分）

共済金支払データに基づく農作業事故の発生状況の分析と農作業事故体験 VR を活用した
事故防止対策

和泉 崇之（JA共済連 全国本部 農業・地域活動支援部次長(兼) 地域貢献運営G課長）

講演4 15:25～15:45（20分）

労災保険（一般労災）の加入促進－課題と関係機関との連携－

福田 哲夫（福田社会保険労務士事務所 所長）

休憩 15:45～15:55

コメント(15:55～16:25 各人10分)

井関農機株式会社移植技術部Aチーム

岡田 卓也

株式会社日本農業新聞論説委員室論説委員長

鈴木 祐子

JA 全中 営農・担い手支援部営農企画課考査役

石澤 哲

総合討議 16:25～17:15（50分）

司会：門間 敏幸

安江 紘幸